

活動実施計画書

団体名：名駅南地区まちづくり協議会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

D-1 公園・水辺の魅力向上

2 活動対象地域の概要

所 在	名古屋市中村区名駅南二丁目 13 番 15 号
面 積	約 44.6ha
特 性 ・ 資 源	名駅南エリアは、名駅から近く、近年はマンション開発も進み、人口が増加しているエリアであり、特に子どもの人口増加率は全人口の増加率よりも高い。 称宜公園は地区内に存在している 300 m ² ほどの貴重な都市公園であり、当協議会やその他プレイヤーにより利活用イベントが定期的に開催されている。一方で日常は喫煙利用がほとんどで、「灰皿公園」と揶揄されている。
現 況 ・ 課 題	称宜公園については、令和 2 年度より、地元とともに称宜公園の将来像を考える WS を実施し、『称宜・こどもオアシス』を目指す姿とし、公園の景観を向上させ、新たな利用を創出することを目的に令和 4 年度より学区・町内会とともに社会実験を実施してきた。 人工芝やベンチを設置したことで、新たなアクティビティが創出されつつあるものの、喫煙者によるたばこのポイ捨ては増加傾向にあり、現状、日常において多様なアクティビティが生まれている風景とはいいがたく、ポイ捨てを減らす更なる対策や官民連携での公園づくりが必要であると考えている。

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

平成 28 年度に名駅南地区まちづくり協議会を設立し、平成 30 年度には名駅南地区まちづくりビジョンを策定・公表した。（協議会設立前の研究会時代に地域まちづくりの助成を活用）

まちづくりビジョンにおいては、人が憩え、集える空間づくりを掲げており、ビジョンにのっとり、称宜公園については、社会実験として①で段階的にハードを整えながら、②としてソフトな取り組みを併せて実施。

①喫煙以外の利活用ができる環境をつくる

（公園内に人工芝やベンチなど什器の設置、公園外に喫煙所の設置）

②新たな活用シーンをつくる

（定期的なキッチンカーの誘致、利活用イベントの実施、定期清掃やマナー啓発運動）

また、令和 7 年度にはともにまちづくりを進める一般社団法人名駅南エリアマネジメントが、都市再生推進法人への指定を受けている。

※この様式は公開されます。

4 助成を受けようとする活動の目的

祢宜公園では社会実験として前述の活動をしてきたが、多様なアクティビティが創出される公園とはまだまだ言い難く、社会実験として実施してきた活動に加え、持続的に公園を維持管理していくために、収益性を伴った新たな事業を含め、公園の利活用をより一層促進するための計画※を検討する必要がある。

（※公園での新たな事業の実施主体は都市再生推進法人となることが想定されるが、名駅南地区まちづくり協議会と都市再生推進法人である（一社）名駅南エリアマネジメントの関係性については、多くの会員を有するまちづくり協議会でビジョンや行動計画を策定し、その実行部隊として名駅南エリアマネジメントが事業を推進しているため、祢宜公園の利活用計画については、名駅南地区まちづくり協議会にて検討が必要）

また、祢宜公園については、公園管理者による遊具のリニューアルが将来的に予定されており、公園管理者より地域発意の祢宜公園のビジョンを求められている。

そのため、まちづくり協議会として、社会実験の結果や現在の祢宜公園の現状、地域のニーズを踏まえ、公園の理想像を検討し、その理想像を実現するために、短・中・長期の視点で実施する事業や利活用促進のための施策、公園の整備イメージ等を検討し、公園管理者と官民連携での公園づくりをすすめていきたい。

祢宜公園の利活用計画の検討に際しては、まちづくり協議会以外で公園を利活用するプレイヤーが出てきている現状を踏まえ、現在検討している祢宜公園前面道路の利活用・整備計画とも連動し、公園とそれ以外の公共空間や民地のオープンスペースを多様な人が使いこなせる場所としていくことを意識し検討していきたい。

5 助成を受けようとする今年度の活動およびコンサルタントへの委託業務内容（役割分担）

<団体>

- ・ 祢宜公園の理想像の検討（利活用のあり方、施設整備のあり方など）
- ・ 祢宜公園の施設整備の内容・イメージの検討
- ・ 祢宜公園で実施する事業や利活用促進施策の内容検討
- ・ 祢宜公園活用イベントの実施
（整備イメージの実験や、地域住民へのアンケートをとることを目的に実施）
- ・ 学区連絡協議会や市役所など関係者との協議

<コンサルタント>

公園のあり方や利活用に関する調査業務の履行実績が豊富な業者へ以下委託予定

- ・ まちづくり協議会で進める検討スケジュールの企画
- ・ 公園の利活用や施設整備に関する他事例の提示
- ・ 公園など公共空間を活用した収益事業に関する他事例の提示、実現するための制度等実現可能性に関するアドバイス
- ・ まちづくり協議会での検討結果の整理
- ・ 祢宜公園の利活用計画のとりまとめ（計画原稿やイメージ図等の作成）

※この様式は公開されます。

6 今年度の活動実施の際に協力・調整等が必要となる関係者等

・六反学区連絡協議会、町内会・公園愛護会（祢宜公園利活用計画への意見） 社会実験をともに実施してきており、会議にも定期的に参加している ・中村土木事務所（公園管理者として利活用計画についての協議、提出先） 将来的に遊具のリニューアルが見込まれており、地元として祢宜公園をどのようにしていきたいか整備イメージを教えてほしいとの要望をいただいている。 ・将来的に都市再生整備計画の変更の必要があればリニア関連・名駅周辺開発推進課と協議予定 ・上記に加えて、小中学校など多様な人と連携する機会を模索することで、祢宜公園の新しい可能性も検討する

7 今度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4	利活用計画検討	土木事務所と進め方の協議
5	利活用計画検討 祢宜公園活動	利活用や整備の方向性を整理 祢宜公園へ喫煙所への誘導看板の設置
6	利活用計画検討	利活用や整備の方向性を整理
7	祢宜公園活動	コンサルタントへの業務委託（～2月） これまでの振り返り（利用調査、過去アンケート等） 短期の取組① ニーズ把握の方法①（アンケートの手法・項目の検討）
8～10	アンケート調査	アンケート実施 ・公園利用者 ・10/17 イベント（五千人祭） ・ちょいのみガーデン ・小中学校 ・周辺店舗、事業所
9	検討会議③	中長期の公園のあり方①
10	検討会議④	中長期の公園のあり方② アンケート結果の整理
11	検討会議⑤	コンセプト・利活用・整備イメージ①
11/6	中間報告	活動実績中間報告書の提出
12/7～8	ワークショップ	ソトノバWSと連携予定
12	検討会議⑥	コンセプト・利活用・整備イメージ② （ソトノバWSの結果も反映）
1	検討会議⑦	利活用計画素案
1	意見聴取	学区連絡協議会、町内会、まち協から意見聴取
2	検討会議⑧	利活用計画（案）の完成

※この様式は公開されます。

3/5	最終報告	活動実績報告書の提出
3	計画提案	利活用計画（案）を中村土木事務所へ提出、協議

8（構想策定・事業化検討）の想定プロセスと（構想策定後・事業化実現まで）の展望

令和9年3月に、中村土木事務所への利活用計画（案）の提出を目指している。

今回作成した利活用計画（案）については、公園管理者や都市再生整備計画所管課との協議に活用していく資料とし、適宜協議を踏まえ、ブラッシュアップしたものを、利活用計画として策定する。

～以下、利活用計画策定後の事業化実現までのイメージ～

①ハード整備

- ・大規模リニューアル（公園再整備）については公園管理者等に提案。
- ・小規模・短期でできる整備についてはまちづくり協議会予算や助成を活用して実施。（都市再生整備計画の変更が必要なものについては変更手続き実施後）

②ソフト（利活用の促進）

- ・利活用計画を地域へ広くPRし、新たなプレイヤーやファンを獲得。
新たなプレイヤーとまちづくり協議会が連携して、新たなアクティビティを創出する。
- ・公園を活用したい人の受け皿となる相談体制、アクティビティに必要な什器などの備品の準備など利活用しやすい環境を整える。
- ・アクティビティを増やし、かつ公園前面道路やほかのオープンスペースの活用もあわせて展開する中で、称宜公園にふさわしい収益事業を構築。
- ・アクティビティを増やし、ファンを増やすことで、公園リニューアルへの機運を醸成し、全面的な再整備につなげていく。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、4ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※この様式は公開されます。